

げきだんなかま しょうかい 劇団仲間の紹介

「人間をよりよくして生かすめよ」これは1953年4月、劇団結成宣言の主文であり、以来65年間かわらぬ劇団仲間の理念です。
俳優養成所講師から劇団仲間を主導し、1980年に急逝した中村俊一は、主催者として演出者として一貫して劇団の指導にあたり数多くの作品を創り出しました。幼少期から質の高い演劇に接することによって子どもたちの感性を高め、成人後も芝居を愛する感覚を持った人たちを増やしていこうとの狙いもあり、創立当初から児童・青少年演劇に力を入れてきました。
中村俊一亡きあともこの路線は変わらず、創立メンバーの一員である生井健夫を中心に、理解ある劇団内外の作家、演出家の協力を得て、中村時代とはひと味違った舞台を創り出すことに成功。各方面より高い評価をいただいています。

◇開催日程

実施日程	実施校名
7月3日 月	越谷市立弥栄小学校
7月4日 火	春日部市立藤塚小学校
7月5日 水	新座市立栗原小学校
7月6日 木	ときがわ町立萩ヶ丘小学校
9月25日 月	伊達市立月館学園小学校
9月27日 水	五泉市立村松小学校
9月28日 木	上越市立板倉小学校
10月6日 金	さいたま市立大宮小学校
10月11日 木	二本松市立二本松北小学校
10月12日 金	喜多方市立熊倉小学校
10月23日 月	松戸市立南部小学校

知ってますか？～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり文化交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。



令和5年度

一学校巡回公演事業一

*児童劇*劇団仲間

舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）

独立行政法人 日本芸術文化振興会



原作/ステファノ・フォン・ロー（三修社刊） 脚本・演出/鈴木雄太

「学校巡回公演事業」

小学校・中学校等において文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、子供たちが質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、子供たちの豊かな創造力・想像力や思考力、コミュニケーション能力などを養い、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的としています。
ワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。
また、実演においては、子供たちが参加できる工夫を行います。

自己紹介の歌

<p>☆スタッフ</p> <p>原作：ステファノ・フォン・ロー（三修社刊）</p> <p>脚本・演出：鈴木雄太</p> <p>美術：角浜有香</p> <p>音楽：芳賀一之</p> <p>振付：川又真理子</p> <p>衣裳：小泉美都</p> <p>効果：金子華世</p> <p>照明：田中祐太</p>	<p>☆キャスト</p> <p>小さい“つ”：大和田遥奈</p> <p>と：小倉輝一</p> <p>こ：二瓶美江</p> <p>あ：池田舞</p> <p>お：飛田晃</p> <p>ら：白石ゆうみ</p> <p>ん：鎌田睦大</p> <p>ま：田中誠</p> <p>の：浜谷真理子</p>
--	---

☆ストーリー

五十音村最大のピンチ！いや、日本語のピンチ！

ひらがなたちが集まって暮らす五十音村では自慢話で盛り上がっていました。そんな中、小さい“つ”は「音にならない文字なんて必要ない！」とからかわれ、五十音村を飛び出してしまいます。すると人間の世界ではおかしなことが起こりました。弁護士が「訴えますか？ 訴えませんか？」と言おうとすると「歌えますか？ 歌えませんか？」となって依頼人はプンプン。横綱も「はげよい、のこた」では力が入らず負けてしまい日本語は大混乱！小さい“つ”は五十音村に戻って来るのでしょうか？

～文字たちが贈る、日本語をめぐるファンタジー～



♪あいうえおの(お)さんは元気に挨拶

「おはよう！おつかれさま！おやすみなさい！」



♪かきくけこの(こ)さんは物知り博士

「困ったときは、いつでも相談にのりますぞ」



♪たちつととの(と)さんはシッカリ著のまとめ役

「あれとこれとそれと……皆きつと繋がれる！」



♪はひふへほの(は)さんは笑い上声

「はははははは、ひひひひひひ、ふふふふふふ、へへへへへへ、ほほほほほほ」



♪わをんの(ん)さんは最後の最後1番後ろで一人あわあわ

「んー、まだのりいない？大丈夫？閉めちゃって大丈夫？僕で最後で大丈夫？」

